

諮問案件グループ①

丘珠空港緑地の変更

議案第1号 札幌圏都市計画緑地の変更

札幌市建設局みどりの推進部
札幌市まちづくり政策局空港活用推進室

- 1 都市計画変更の概要
- 2 丘珠空港の概要と都市計画変更の背景
(安全運航の確保に向けた空港用地の拡張)
- 3 緑地の概要と空港用地拡張に伴う緑地の取組
- 4 前回の審議会を踏まえた補足説明
- 5 都市計画変更の内容
- 6 法縦覧の結果
- 7 今後の予定

- 1 都市計画変更の概要
- 2 丘珠空港の概要と都市計画変更の背景
(安全運航の確保に向けた空港用地の拡張)
- 3 緑地の概要と空港用地拡張に伴う緑地の取組
- 4 前回の審議会を踏まえた補足説明
- 5 都市計画変更の内容
- 6 法縦覧の結果
- 7 今後の予定

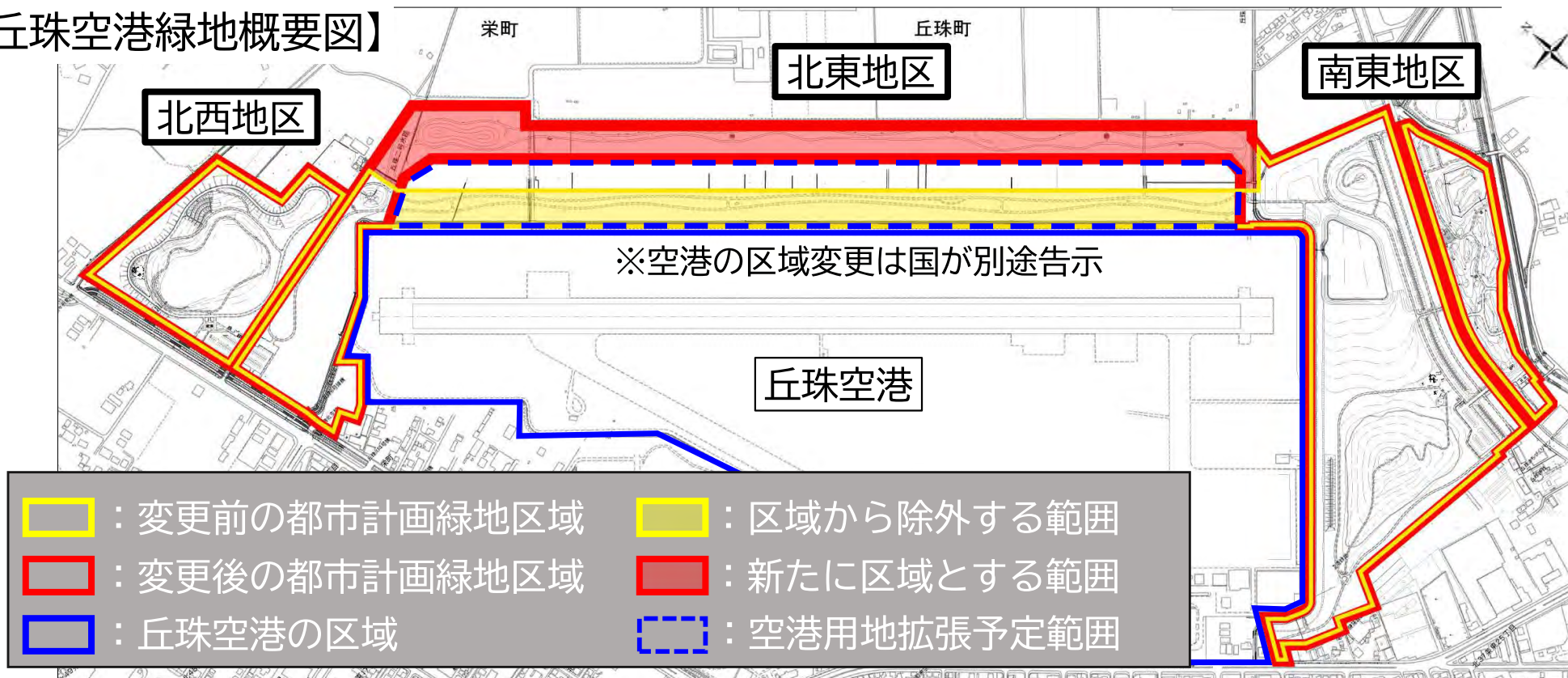
1 都市計画変更の概要

3

札幌圏都市計画緑地のうち、46号丘珠空港緑地の区域及び面積を変更

	名 称		位 置	面 積	備 考
	番号	緑地名			
変更前	46	丘珠空港緑地	札幌市東区丘珠町、栄町	約52.4ha	園路、広場、植栽 パークゴルフ場、駐車場
変更後	変更なし		変更なし	約52.8ha	変更なし

【丘珠空港緑地概要図】

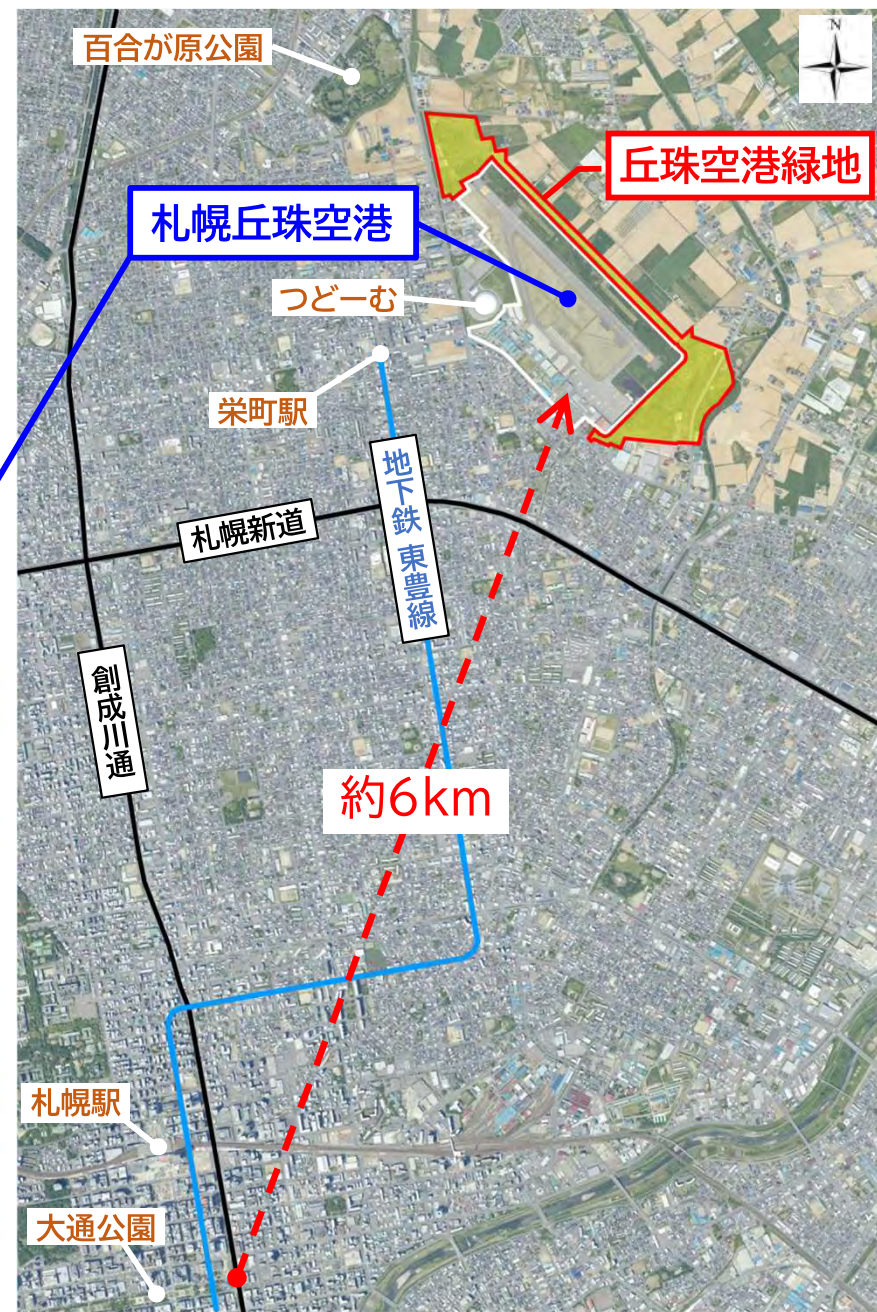
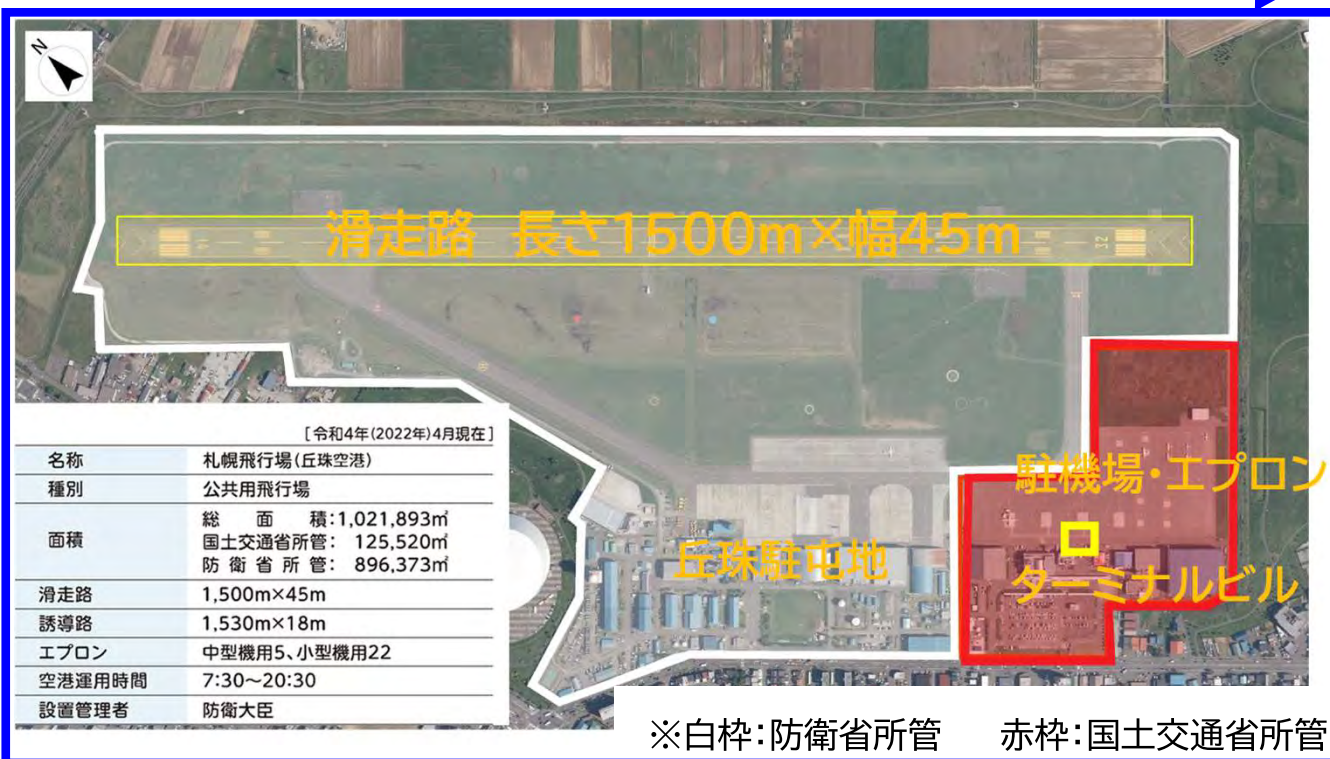


- 1 都市計画変更の概要
- 2 丘珠空港の概要と都市計画変更の背景
(安全運航の確保に向けた空港用地の拡張)**
- 3 緑地の概要と空港用地拡張に伴う緑地の取組
- 4 前回の審議会を踏まえた補足説明
- 5 都市計画変更の内容
- 6 法縦覧の結果
- 7 今後の予定

2-1 丘珠空港の位置と施設概要

5

- 市内中心部から約6kmに位置する都市型空港であり、防衛省と国土交通省が管理する共用空港
- 民間旅客機の利用のほか、陸上自衛隊丘珠駐屯地が所有するヘリコプター（自衛隊機）の飛行訓練を実施



空中写真(令和7年撮影)

《丘珠空港》

昭和36年 共用空港として利用開始



平成11年 「丘珠空港周辺のまちづくり構想」 策定

※「緩衝緑地の整備」を必要な取組として位置付け



平成16年 滑走路を100m延長(1,500m)



平成25年～ FDA (リージョナルジェット) の
実証飛行、定期便就航



令和4年 「丘珠空港の将来像」 策定

※「滑走路の延長」や「周辺地域との調和と共生」を必要な取組として位置付け



令和7年 「札幌丘珠空港と周辺地域の共生に関する基本構想」 策定

※「安全運航の確保に向けた空港用地の拡張」や「緑地機能の維持・向上」を必要な取組として位置付け

《丘珠空港緑地》



平成13年8月 都市計画決定(南東)



平成17年10月 造成工事着手



平成18年12月 都市計画変更(北西・北東)



平成29年3月 造成工事完了



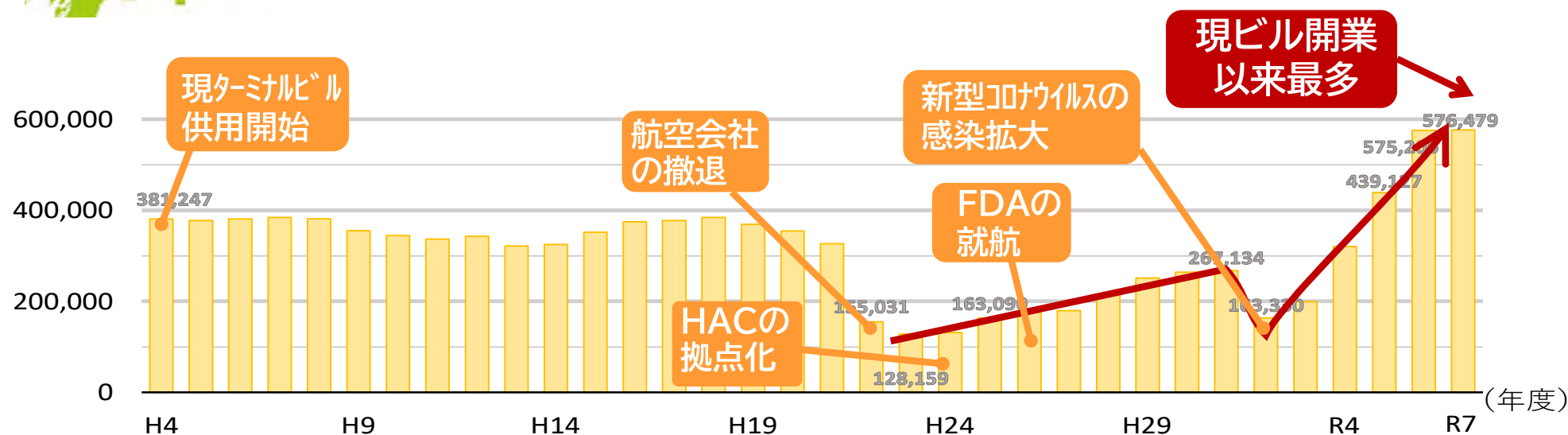
2-3 就航路線と年間旅客数の推移

7

- 就航先の拡充に伴い、近年大幅に旅客数が増加
- 令和7(2025)年度の旅客数は、現ターミナルビル開業以来最多の57万6千人を記録



令和5年以降の新規就航路線



一年を通して道内外との路線を展開することにより、市民・道民の安全・安心な暮らしに寄与するとともに、多様な交流を支える広域交通拠点となる空港。

■ 将来像を実現するための取組（抜粋）

滑走路の延長

- ▶ 冬季も含め、1年を通して安定した空港利用が可能となるよう、300m程度の滑走路延長を国に要望（2030年延長・供用開始目標）

路線の拡充

- ▶ 北海道との直行便が無い
道外各地との路線を結ぶ



■ 周辺地域との共生

運航便数等について航空機騒音の環境基準を超えない範囲での運用

民間旅客機の離発着

■ 旅客機【R8.4時点】

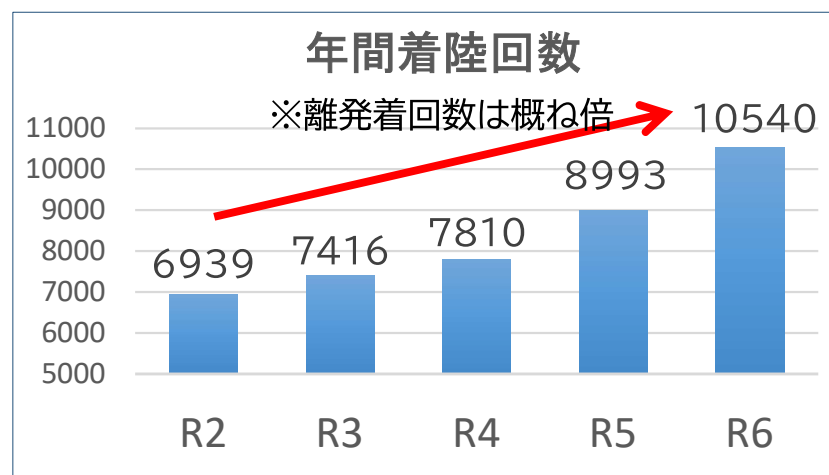
最大50便／日（ピーク時間帯・・・6便／時間）

※令和4年4月時点では最大30便／日

■ プライベートジェット等の民間小型機【R1～4実績】

20～40便／年 程度

➡ 民間旅客機の便数の増加に伴い、
離発着回数が大幅に増加



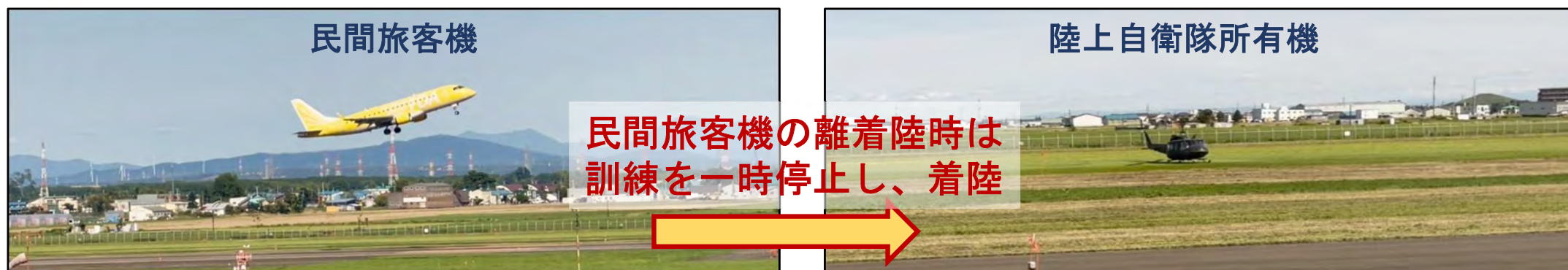
自衛隊機の訓練

- 丘珠駐屯地及び他駐屯地から飛来する固定翼・回転翼機（ヘリコプター）

- 現状：着陸帯内の草地を中心に飛行訓練を実施



- 民間旅客機の離発着回数・・・将来的に70便/日程度を想定
➡ 自衛隊機の訓練との両立がより課題に



安全運航を確保しながら、民間旅客機の運航と自衛隊機の訓練の両立を図ることは丘珠空港の喫緊の課題であり、早急な対応が必要

- 安全運航を徹底するため、民間航空機と自衛隊機の物理的な安全距離を確保
- 緑地の北東地区の活用を中心とした空港用地の拡張を想定
- 空港用地拡張後も緑地の代替機能を確保

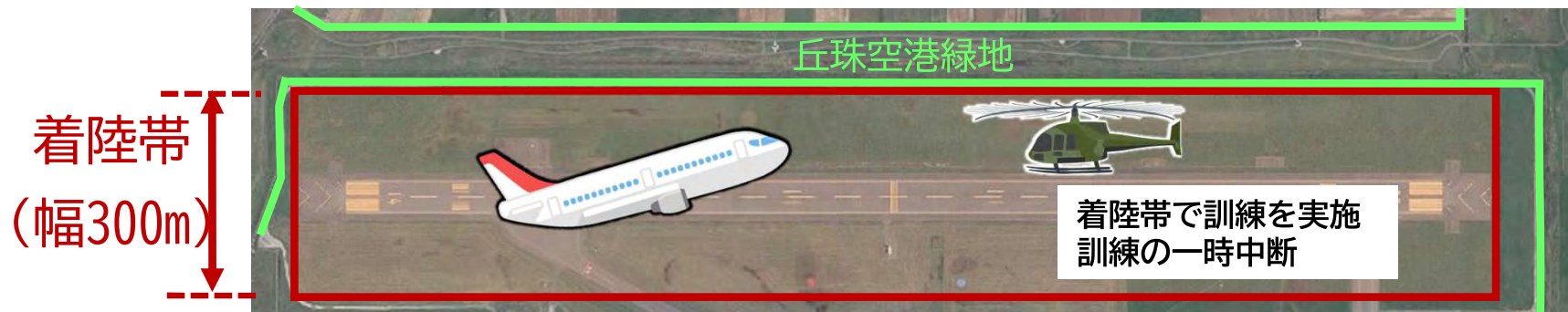


2-8 空港用地拡張により想定される効果

12

■現状：自衛隊機は、着陸帯の内側で訓練を実施

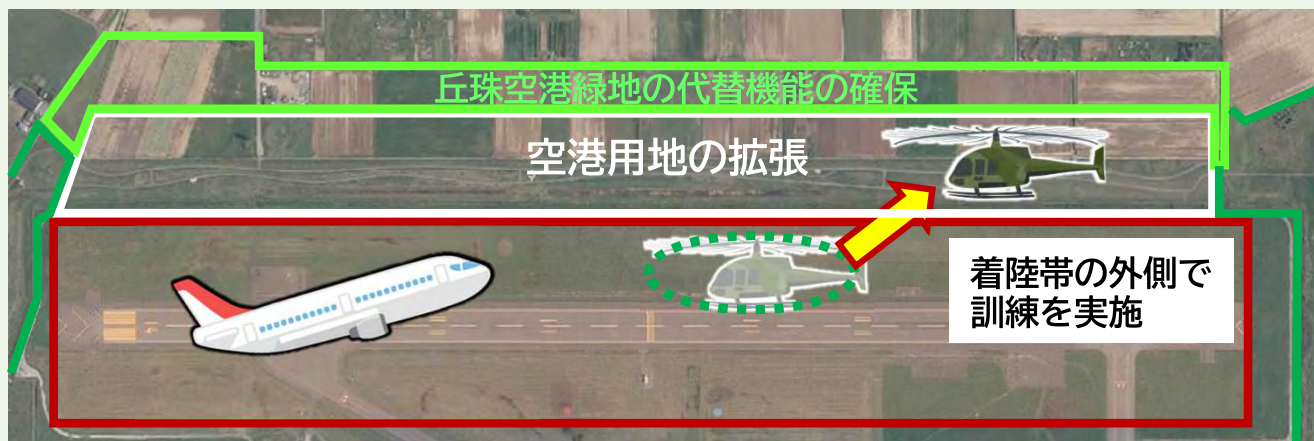
民間旅客機の離着陸時、自衛隊機は訓練を一時中止し、着陸して待機する必要がある



民間旅客機の離着陸時の安全性をより一層高めるとともに、自衛隊の訓練が継続して安定的に行える環境の整備が必要

■拡張後：自衛隊機は、着陸帯の外側で訓練を実施

- ・ 民間旅客機の離着陸時に自衛隊機が着陸帯で待機する状況が解消され、離着陸時の安全をより一層確保できる
- ・ 自衛隊機は、民間旅客機の離着陸に関わらず訓練が可能となる



■ 緑地(北東地区)の活用及び民有地を取得し、空港用地(防衛省用地)を拡張

■ 緑地の代替機能として、民有地を取得し、緑地(札幌市用地)を新規に整備



- 1 都市計画変更の概要
- 2 丘珠空港の概要と都市計画変更の背景
(安全運航の確保に向けた空港用地の拡張)
- 3 緑地の概要と空港用地拡張に伴う緑地の取組**
- 4 前回の審議会を踏まえた補足説明
- 5 都市計画変更の内容
- 6 法縦覧の結果
- 7 今後の予定

3-1 丘珠空港緑地のこれまでの経緯

15

《丘珠空港》

昭和36年 共用空港として利用開始



平成11年 「丘珠空港周辺のまちづくり構想」 策定

※「緩衝緑地の整備」を必要な取組として位置付け



平成16年 滑走路を100m延長(1,500m)



平成25年～ FDA (リージョナルジェット) の
実証飛行、定期便就航



令和4年 「丘珠空港の将来像」 策定

※「滑走路の延長」や「周辺地域との調和と共生」を必要な取組として位置付け



令和7年 「札幌丘珠空港と周辺地域の共生に関する基本構想」 策定

※「安全運航の確保に向けた空港用地の拡張」や「緑地機能の維持・向上」を必要な取組として位置付け

《丘珠空港緑地》

【諸元】

- ・位置：札幌市東区丘珠町、栄町
- ・面積：約48.8ha※1

※1：都市計画の面積(約52.4ha)から河川敷地(約3.6ha)を除く



平成13年8月 都市計画決定(南東)



平成17年10月 造成工事着手



平成18年12月 都市計画変更(北西・北東)



平成29年3月 造成工事完了

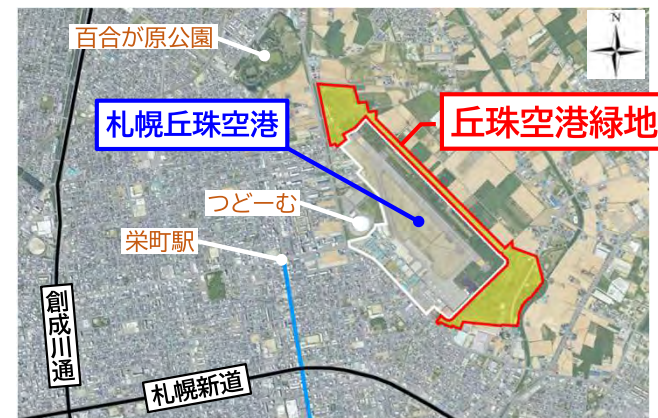


3-2 丘珠空港緑地の施設概要

16

【施設概要】

- ・ 丘珠空港を取り囲む形で配置しており、北西・北東・南東の3つの区域で構成されている。
- ・ 航空機の地上騒音や風、雪の影響を和らげるための緩衝機能と、市民が日常的に利用する園路や遊具などのレクリエーション施設を有している。



3-3 丘珠空港緑地の現況及び周辺状況

17

【現況写真】

② 北東地区(南東側から望む)



③ 飛行場北東2号線



④ 航路川(準用河川)



⑤ 北東地区隣接地

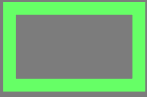


① 北西地区(きたかぜ広場)



⑥ 南東地区(みなみかぜ広場)



 : 丘珠空港緑地

3-4 空港用地拡張に伴う緑地に関する取組

18

- ・ 丘珠空港緑地の整備は、「札幌丘珠空港と周辺地域の共生に関する基本構想」を踏まえ、現緑地が有している緩衝機能やレクリエーション機能(園路・休憩施設等)の確保を前提とした整備とする。
- ・ そのため、北東地区の代替機能を確保するべく、隣接する民有地を新たに取得し、緑地を新規に整備する。(下図の赤色箇所)



- 1 都市計画変更の概要
- 2 丘珠空港の概要と都市計画変更の背景
(安全運航の確保に向けた空港用地の拡張)
- 3 緑地の概要と空港用地拡張に伴う緑地の取組
- 4 前回の審議会を踏まえた補足説明**
- 5 都市計画変更の内容
- 6 法縦覧の結果
- 7 今後の予定

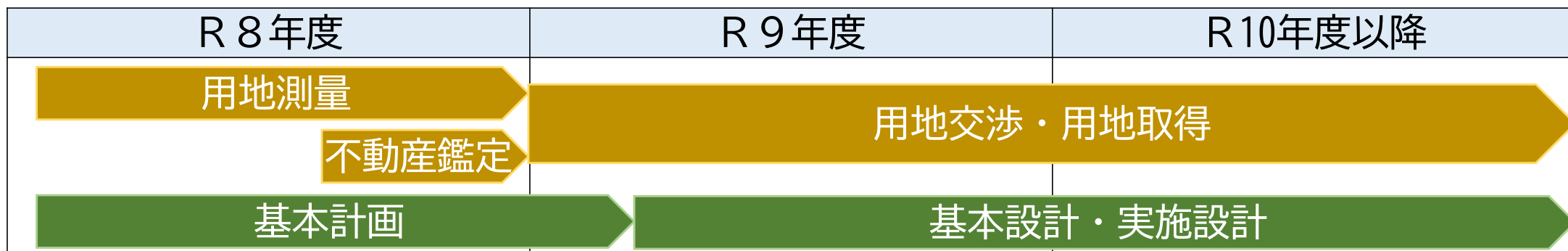
4 前回の審議会を踏まえた補足説明

20

1. 緑地の新規整備に伴う用地取得費及び整備費について

- 用地取得費については、今年度に行う用地測量及び不動産鑑定評価の結果を踏まえて、今後算定する予定
- 緑地整備費については、今年度の基本計画策定業務において、整備内容の検討を行う中で算定していく予定

(参考) 今後の想定スケジュール



2. 国(防衛省)との費用負担及び協議状況について

- 用地取得及び緑地整備の費用については、既存緑地を防衛省が取得することに伴い札幌市に支払われる買収費や移転補償費を主な財源とする考え
- 併せて、防衛省の補助金を活用することも検討しており、今後の用地取得の進め方など含めて、詳細について防衛省と協議・調整中

3. 空港用地の拡張に伴う航空機騒音の影響について

○航空機騒音の影響に配慮し、以下の取組を実施

- 空港との緩衝機能を有する緑地を現状と同様に整備
- 国が定める航空機騒音の環境基準の範囲内であることを確認するとともに、訓練用地拡張による周辺地域への航空機騒音の影響が小さくなるよう、防衛省等と協議・調整



□：丘珠空港緑地

- 1 都市計画変更の概要
- 2 丘珠空港の概要と都市計画変更の背景
(安全運航の確保に向けた空港用地の拡張)
- 3 緑地の概要と空港用地拡張に伴う緑地の取組
- 4 前回の審議会を踏まえた補足説明
- 5 都市計画変更の内容**
- 6 法縦覧の結果
- 7 今後の予定

5 都市計画の変更内容

23

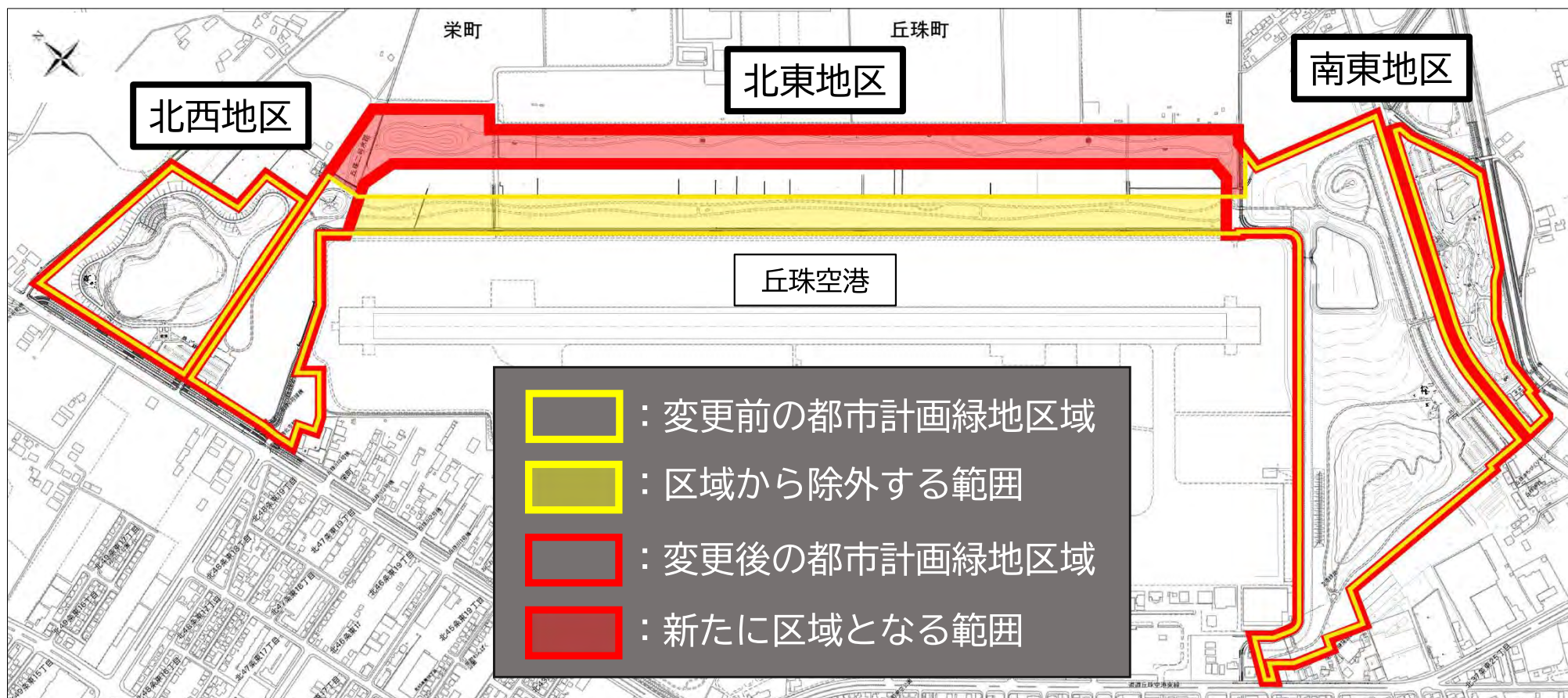
【変更前(現緑地)】

都市計画面積	約52.4ヘクタール
主要施設	園路、広場、植栽 パークゴルフ場、駐車場



【変更後】

都市計画面積	約 52.8 ヘクタール
主要施設	園路、広場、植栽 パークゴルフ場、駐車場



- 1 都市計画変更の概要
- 2 丘珠空港の概要と都市計画変更の背景
(安全運航の確保に向けた空港用地の拡張)
- 3 緑地の概要と空港用地拡張に伴う緑地の取組
- 4 前回の審議会を踏まえた補足説明
- 5 都市計画変更の内容
- 6 法縦覧の結果**
- 7 今後の予定

■実施概要

【縦覧期間】

令和8年（2026年）8月7日（金）～ 8月21日（金）

【縦覧場所】

札幌市 建設局 みどりの推進部 みどりの推進課

【縦覧結果】

意見なし

- 1 都市計画変更の概要
- 2 丘珠空港の概要と都市計画変更の背景
(安全運航の確保に向けた空港用地の拡張)
- 3 緑地の概要と空港用地拡張に伴う緑地の取組
- 4 前回の審議会を踏まえた補足説明
- 5 都市計画変更の内容
- 6 法縦覧の結果
- 7 今後の予定**

令和8年7月24日 第137回 都市計画審議会【事前説明】（実施済）

令和8年8月7日
～8月21日 都市計画案の縦覧（実施済）

令和8年9月11日 第138回 都市計画審議会【諮問】（本日）

令和8年10月下旬 都市計画変更告示（予定）

令和8年12月下旬 都市計画事業の認可（予定）

令和9年度以降 用地交渉・用地取得（予定）